**Ｉ▫ＴＯＰ横浜ラボ　応募申請書**

**～ 「都市部でのスマート農業」に関する実証プロジェクト ～**

**１．会社概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 |  |
| 本社所在地 | 〒 |
| 横浜市内に事業所がある場合、市内事業所の所在地 | 〒 |
| 代表者氏名 |  |
| 資本金 |  |
| 従業員数 | 【従業員数】【うち常勤】 |
| 設立年月日 |  |
| 事業概要 |  |
| 自社の主要製品・サービス |  |
| 会社ホームページ | 【URL】 |
| 本事業提案の担当者 | 【所属】【役職】【氏名】【連絡先(電話)】【連絡先(mail)】 |

　次の点について宣誓いたします

|  |  |
| --- | --- |
|  | チェック欄 |
| 募集要項の記載事項を理解・同意した上で申請をしていること |[ ]
| 募集要項に記載されている応募資格をすべて満たしていること |[ ]

※チェック欄に☑と記入頂いたことをもって、宣誓頂いたものとみなします。

**２．Ｉ▫ＴＯＰ横浜において取り組むことを希望する活動提案**

※Ｉ▫ＴＯＰ横浜の枠組みを通じて取り組むことを希望する短期的な活動の内容（実証実験の企画・実施）に加え、Ｉ▫ＴＯＰ横浜での取り組みを通じて実現を目指している将来的な事業（事業計画）についても、具体的に記載してください。

□新規に立ち上げ等を検討している「事業」の概要について

|  |  |
| --- | --- |
| 「事業」の名称 |  |
| 「事業」のビジョン |  |
| ビジネスモデルのコアとなる自社の製品・サービス |  |

□新規に立ち上げ等を検討している「事業」がターゲットとする市場の環境について

|  |  |
| --- | --- |
| 「事業」が想定するターゲット顧客・ユーザー |  |
| 想定する顧客・ユーザーのニーズ・解決する課題 |  |
| ターゲットとする市場の規模、市場の成長性 |  |

□新規に立ち上げ等を検討している「事業」の競争環境について

|  |  |
| --- | --- |
| 「事業」が想定する競合事業者 |  |
| 競合に対する自社の独自性、優位性 |  |

□新規に立ち上げ等を検討している「事業」のビジネスモデルについて

|  |  |
| --- | --- |
| 顧客・ユーザーに対する提供価値 |  |
| 顧客・ユーザーに対する製品・サービスの提供方法（販路の想定） |  |
| 顧客・ユーザーに対するプロモーション・営業の方法 |  |
| ＜該当する場合のみ＞連携を予定している外部協力先 |  |
| 「事業」が想定する課金モデル（課金対象・方法） |  |
| 「事業」が想定する製品・サービスの価格 |  |

□新規に立ち上げ等を検討している「事業」の開発計画について

|  |  |
| --- | --- |
| 製品・サービスの現在の開発状況、販売開始までに必要な開発・検討項目 |  |
| 製品・サービスの販売開始の予定時期 |  |
| ＜該当する場合のみ＞販売開始の予定時期が前後する可能性、その理由と想定される遅滞の程度 |  |
| ＜該当する場合のみ＞事業化（販売開始）に向け、現在抱えている課題 |  |
| ＜該当する場合のみ＞事業化（販売開始）に向けた課題解決の見込み・予定 |  |

□新規に立ち上げ等を検討している「事業」の事業計画について

|  |  |
| --- | --- |
| 製品・サービスの販売開始後3ヵ年の売上高・利益に関する数値見込み |  |
| 製品・サービスの販売開始に向けた組織・人材の確保・整備の計画 |  |
| 製品・サービスの販売開始から10年後の事業の状況・規模などの見込み |  |

□新規に立ち上げ等を検討している「事業」の実現に向け、I・TOP横浜で実施したい実証実験について

（本テーマでは実証実験の実施場所として、横浜市内の耕作地を想定しています。）

※実施したい実証実験の内容や検証したい製品・サービスについて、写真やイラストなど（例：製品・サービスやその利用・稼働シーンに関するイメージ）を添付し、視覚的にもポイントが分かるように記載してください。

※実施したい実証実験の内容に関連する補足資料があれば、必要に応じてご提出ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施したい実証実験の具体的な内容 |  |
| 実証実験で活用を希望する市内農地の施設機能（施設側の協力を得たい内容） |  |
| 実証実験の実施スケジュール（現地施設を借用する準備期間も含む） |  |
| ＜該当する場合のみ＞実施スケジュールが前後する可能性、その理由と想定される遅滞の程度 |  |
| 実証実験を通じて検証したいこと、検証結果の事業化検討への活用イメージ（事業化に向け、実証実験を行う必要性） |  |
| 実証実験を通じて取得予定のデータと効果検証のKPI |  |

**３．Ｉ▫ＴＯＰ横浜において取り組むことを希望する活動の実施体制（体制図）**

※Ｉ▫ＴＯＰ横浜の枠組みを通じて取り組むことを希望する短期的な活動内容（実証実験の企画・実施）に関する社内体制や社外の連携先について、具体的に記載してください。

※従事予定者の人数や役割分担がわかるように、体制図では、従事予定者の氏名、各担当者が担う役割について、具体的に記載してください。（様式自由）

|  |
| --- |
|  |